

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月14日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901183		
法人名	医療法人社団 旭川圭泉会病院		
事業所名	グループホーム やすらぎ		
所在地	北海道旭川市東旭川町上兵村3番地2 (電話) 0166-36-1578		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月13日	評価確定日	平成22年3月17日

【情報提供票より】(平成22年2月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年3月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 16人, 非常勤	人, 常勤換算 9人

(2) 建物概要

建物構造	コンクリートブロック 造り		
	1階建ての ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	12,000~19,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無		有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2月24日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.33 歳	最低	60 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団旭川圭泉会病院・東旭川病院・小倉歯科
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

町内会にグループホーム新聞を回覧し、ホームの取り組みや地域交流を呼びかけ、積極的に情報の開示に取り組んでいる2ユニットのグループホームです。また、中学校の体験学習や看護学生の実習、セラピー犬や三味線等のボランティア等の受け入れ、地域の保育園児との交流等ホームの持つ機能の地域への還元や町内会の廃品回収や夏祭り等の行事参加を通じて、地元と人々との交流・連携に努めています。職員の段階に応じて、年間教育計画を立案し、資格取得へ法人を挙げての支援を行うと共に看護・介護の内部研修の継続的実践や包括支援センターや旭川市等の外部の研修参加奨励でケアサービスの質の向上に活かしています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、改善課題が挙げられていませんでした。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は、評価を実施する意義を理解し、自己評価は、全ての職員が参加して行われ振り返りや新たな気づきとして利用され、課題を明確にして各委員会で具体的改善に取り組み、職員間で共有されて運営推進会議や家族会等に報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に開催され、主な議題は 感染症予防対策の取り組みについて 緊急事態を想定した訓練の実施について 職員の異動報告について ホームの利用状況及び行事实施報告について 中学校生徒の体験学習の受け入れについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関に「意見箱」を設置して、家族や来訪者等が管理者、職員に意見や苦情等言い表せる機会を設けていると共に法人受付窓口体制を明示したり、苦情等の申し出先の啓発ポスターを掲示しています。また、家族会との定期的な意見交換や総会等の活動を通じて、要望や不安な点等話し合いが行われ、それらを運営に反映しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会にグループホーム新聞を回覧し、ホームの取り組みや地域交流を呼びかけ、積極的に情報の開示に取り組んでいると共に中学校の体験学習や看護学生の実習、ボランティア等の受け入れや地域の保育園児との交流等ホームの持つ機能の地域への還元や町内会の廃品回収や夏祭り等の行事参加を通じて、地元と人々との交流・連携に努めています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、グループホーム独自の理念をつくりあげている。また、職員一人ひとりの目標が設定されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を毎朝唱和し、理念の実践に向けて職員の具体的目標を掲げ、日々取り組んでいる		特筆すべき点として、「入居者アンケート」を実施して、本人の思いや希望を叶える取り組みが実践されている。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会にグループホーム新聞を回覧し、ホームの取り組みや地域交流を呼びかけ、積極的に情報の開示に取り組んでいると共に中学校の体験学習や看護学生等の実習の受け入れ等ホームの持つ機能の地域への還元や町内会の廃品回収や夏祭り等の行事参加を通じて、地元と人々との交流・連携に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、評価を実施する意義を理解し、自己評価は、全ての職員が参加して行われ振り返りや新たな気づきとして利用され、課題を明確にして各委員会で具体的改善に取り組み、職員間で共有されて運営推進会議や家族会等に報告されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年6回を目安に定期的開催されている。また、委員は利用者、家族、町内会役員、他施設の介護支援専門員、民生委員、児童委員、管理者及び職員で構成され、職員の異動等具体的に話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者や包括支援センターとの連携の重要性については十分理解している。また、市主催の成年後見制度や感染症予防、包括支援センターとの情報交換等を通じて、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「グループホーム新聞」の発行で、ホーム行事参加の様子や日常の暮らしぶりや職員の異動、運営推進会議の内容等定期的に報告されている。また、毎月、一人ひとりの健康状態や暮らしの様子、金銭管理が報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に「意見箱」を設置して、家族や来訪者等が管理者、職員に意見や苦情等言い表せる機会を設けていると共に法人受付窓口体制を明示したり、苦情等の申し出先の啓発ポスターを掲示している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く、馴染みの関係を築き、異動の際には定期的に発行される「グループホーム新聞」で紹介記事が掲載されている。また、職員の自己啓発で資格取得やスキルアップが良く行われている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の段階に応じて、年間教育計画を立案し、資格取得へ法人を挙げての支援を行うと共に看護・介護の内部研修が充実している。また、職員の研修意欲も高く、資格取得や独学で通信教育を受けるなど法人及び管理者のバックアップ体制も充実している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内の他施設と各種委員会を運営し、改善活動に活かしていると共にグループホーム協議会や研究会、包括支援センターでの意見交換や情報交換が行われケアサービスに活かされている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、入居前には、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>センター方式の活用や「利用者アンケート」を実施して、食事の準備や畑作業、はり絵や習字、洗濯物たたみや掃除等職員と一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式や「利用者アンケート」を利用して、観葉植物の水遣りや畑作業、調理の準備や野菜の収穫、散歩や花菜里ランド等への外出、夏祭りやホーム行事参加等本人の希望や意向を尊重した取り組みが行われている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。</p>		<p>特筆すべき点として、一人ひとりの環境全般からくる「こだわり・強さ・願い」等生活上の課題が介護計画に反映されている。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員が中心となってショートカンファレンスを随時実施し、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		<p>特筆すべき点として、介護支援経過等の記録が、介護計画に沿った記載が行われている。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、散歩や買い物、自宅への帰省や外出、通院や往診等事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体医療法人や主治医との連携で気軽に相談できる医師や利用者をよく知る看護職員が確保され、適切な医療を受けられるように支援している。また、母体法人とコードレット、コードブルーの回線が接続され緊急時の即応体制が整っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について「看取り」の指針が明確化され、できるだけ早い段階から本人・家族の意志が確認されて職員全員にその方針が共有されている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>身体拘束廃止委員会で職員の共通認識を持つ取り組みを行い、一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。また、「個人情報方針」が明示され、接遇マナーの研修会等も行われている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切に、食事の準備や洗濯物たたみ、観葉植物の世話や畑作業等その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、もやしのひげとりや野菜の皮むき、配膳の準備や食器洗い、米研ぎや調理等職員と一緒にやっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、ゆっくりと入浴が楽しめるように入浴剤を使ったり、みかん風呂にするなど工夫されている。また、ユニット毎に大きな浴槽とユニット型の二つの浴槽が用意されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式を利用して、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら配膳の準備や食器洗い、洗濯物たたみや観葉植物の水遣り、畑作業や野菜の収穫、除雪作業等役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩やスーパーでの買い物、動物園見物や紅葉狩り、ラーメン・寿司などの外食や温泉入浴、弁当持参で花菜里ランド散策、農業まつりでの花火見物など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	法人及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、身体拘束廃止委員会で職員の共有を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災避難訓練、自衛消防訓練も定期的実施され、救急救命訓練やAEDの使用法についても地域の人達が参加して実施されている。また、全館スプリンクラーが設置され、防火管理者が配置されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士がメニューを作成し、栄養バランスやカロリーは、把握されている。また、具体的な食事、水分の摂取量、栄養状態に応じた補助食品の提供など一人ひとりに応じた支援が行われている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節毎の飾りつけや観葉植物が配置され、家庭的雰囲気が感じられる。また、窓やベランダからは大雪山が望めたり、テラスでは日光浴を楽しんだり、畑や花壇などが眺められ開放感がある。また、利用者が気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、本人や家族と相談しながら、好きな絵や家族の写真、手作りカレンダーや観葉植物、使い慣れた家具等が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。